

VTV-8000 **セットアップガイド**

VTV-8000、VTV-8000-6C、VTV-8000-8C

リリース 3.0

2007年3月1日

ヴィスコ・テクノロジーズ株式会社

もくじ

1. 本書の目的.....	5
2. 梱包内容の確認	6
2.1. 本体の梱包を解く	6
2.2. アクセサリの梱包を解く	8
3. カメラ.....	9
3.1. サポートされているカメラ	9
3.2. カメラの設定.....	9
3.2.1. XC-HRシリーズの設定	9
3.2.2. VCC-G20U20 の設定.....	10
4. ケーブルとカメラの接続.....	11
4.1. ケーブル対応表	11
4.2. カメラケーブルの接続.....	12
5. 画像の取り込み確認（標準カメラポート）	13
5.1. 標準カメラポートの設定と確認	13
5.1.1. KVシステムの終了と環境設定	13
5.1.2. 手動運転モードへの切り換え.....	13
5.1.3. 画像ソースの選択.....	13
5.1.4. 画像取り込み.....	14
6. 画像の取り込み確認（オプションカメラポート）	15
6.1.1. 手動動作運転モードへの切り換え.....	15
6.1.2. 画像ソースの選択.....	15
6.1.3. カメラの選択.....	15
6.1.4. カメラの選択.....	15
6.1.5. 画像の取り込み	16
7. 画像の取り込み確認（画像取り込み設定済み）	17
8. I/Oの確認	18
9. 問い合わせデータの作成（タスクのエクスポート）	19
9.1. デスクトップにデータ保存用のフォルダを作成	19
9.2. 問題のあるタスクを開き画像を保存する	19
9.3. タスクのエクスポートを行う	20
9.4. 問い合わせデータの圧縮.....	21
9.5. データの送付.....	21

10.	データの受け取り (タスクインポート)	22
10.1.	データの受け取り	22
10.2.	タスクインポート	22
10.3.	実行.....	22
11.	OSのインストール.....	23
11.1.	OSインストーラCDでの起動.....	23
11.2.	CDの入れ替え.....	23
11.3.	インストールの終了.....	24
11.4.	プロダクトキーの入力.....	24
11.5.	「新しいハードウェア検出ウィザード」のキャンセル.....	24
11.6.	ライセンス認証.....	25
12.	VTV-8000 アプリケーションのインストール.....	26
12.1.	VTV-8000 アプリケーションインストーラCDの起動.....	26
12.2.	オプションボード用ドライバのインストール.....	26
12.3.	PIOドライバのインストール.....	27
12.4.	KVシステムのインストール.....	27
12.5.	古いデータの削除を確認.....	27
12.6.	古いKVシステムの削除.....	28
12.7.	KVシステムのインストール.....	28
12.8.	プログラムフォルダの選択.....	29
12.9.	KVシステムのインストール中画面.....	29
12.10.	セットアップの終了.....	29
12.11.	ライセンスの同意とVTV-8000 起動.....	30
13.	お問い合わせ先.....	31

1. 本書の目的

このたびはヴィスコ・テクノロジーズ株式会社の VTV-8000 シリーズをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本書は VTV-8000 (カメラ 4 チャンネル)、VTV-8000-6C (カメラ 6 チャンネル)、VTV-8000-8C (カメラ 8 チャンネル) をセットアップするための手引き書です。

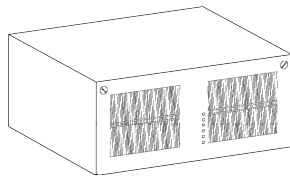
このセットアップガイドでは以下の項目について記述しています。

- ・ 梱包内容の確認
- ・ カメラの設定
- ・ ケーブルとカメラの接続
- ・ 取り込み画像の確認
- ・ I/O の確認
- ・ 問い合わせデータの作成
- ・ OS のインストール
- ・ VTV-8000 アプリケーションのインストール

2. 梱包内容の確認

2.1. 本体の梱包を解く

本体の梱包を開き以下の付属品がそろっていることを確認してください。もし足りない場合には弊社営業部までお問い合わせ下さい。



VTV-8000 本体



PS/2 キーボード



PS/2 マウス



MVS-8504 取り込みボード用
4 分岐ケーブル
300-0232-015



電源ケーブル



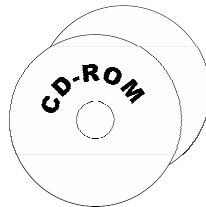
リムーバブル
HDD キー



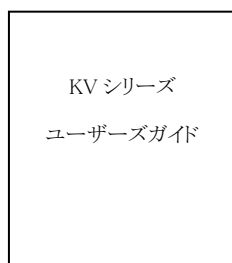
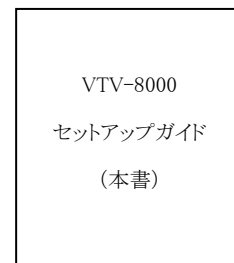
ゴム足



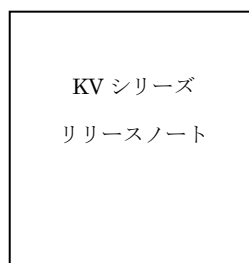
VTV-8000 アプリケー
ションインストーラ CD



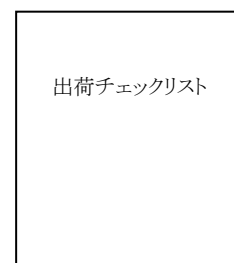
VTV-8000 OS
インストーラ CD (2 枚)



KV シリーズ
ユーザーズガイド



KV シリーズ
リリースノート



出荷チェックリスト

以下の表 1に梱包物の一覧を示します。

品名	数量	備考	✓
VTV-8000 本体	1 台		
PS/2 キーボード	1 個		
PS/2 マウス	1 個		
MVS-8504 取り込みボード用 4 分岐ケーブル (300-0232-015)	1 本	6C (CBL-GEIAJ2)、8C (CBL-GEIAJ4) 用のオプション取り込みボード用分岐ケーブルは別途梱包されています。	
電源ケーブル	1 本		
リムーバブル HD キー	2 個		
筐体用ゴム足	4 個	本体下部に貼り付けてください	
VTV-8000 アプリケーション インストーラ CD	1 枚		
VTV-8000OS インストーラ CD	2 枚		
VTV-8000 セットアップガイド	1 冊	本書です	✓
KV シリーズユーザーズガイド	1 冊		
KV シリーズリリースノート	1 冊		
出荷チェックリスト	1 冊		

表 1 : 梱包物一覧

注意 :

- ・ 6C、8C 用オプション取り込みボード用分岐ケーブルは別梱包されています。
- ・ カメラ、カメラケーブル、照明などはアクセサリとして別梱包となります。アクセサリについては「2.2 アクセサリ (p.5)」を参照してください。

2.2. アクセサリの梱包を解く

通常は本体とは別梱包でカメラ、カメラケーブル、レンズ、照明など梱包したアクセサリも送付されます。アクセサリの梱包を開き同封されている納品書（または送付状）と梱包内容が一致しているか確認してください。

3. カメラ

3.1. サポートされているカメラ

VTV-8000 シリーズでサポートされているカメラを以下に示します。それ以外のカメラを接続する場合には弊社営業部までお問い合わせ下さい。

- ・ XC-HR50
- ・ XC-HR70
- ・ XC-ST50
- ・ CV-A1
- ・ CV-A2 (オプションカメラポートに接続する場合、ソフトウェアリビジョン 8.7.2.0 以降が必要)
- ・ VCC-G20U20

3.2. カメラの設定

VTV-8000 シリーズに XC-HR シリーズおよび VCC-G20U20 カメラを接続する場合にはカメラのディップスイッチの設定を変更する必要があります。

3.2.1. XC-HRシリーズの設定

VTV-8000 シリーズにXC-HRシリーズを接続する場合には以下の図 1のようにカメラのディップスイッチの7と8をONに、その他をOFFに切り換えてください。

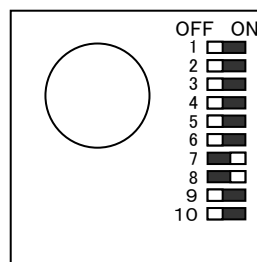


図 1 : XC-HR シリーズのディップスイッチ設定

注意 :

- ・ メーカー出荷時にはすべてのディップスイッチは OFF に設定されています。
- ・ このディップスイッチの設定に対応した VTV-8000 のソフトウェアリビジョンは 8.4.2.0 以降です。それ以前のリビジョンをお使いの場合、弊社までお問い合わせ下さ

い。

3.2.2. VCC-G20U20 の設定

VTV-8000 シリーズにVCC-G20U20 を接続する場合には以下の図 2のようにカメラのディップスイッチの 4 と 10 をONに、その他をOFFに切り換えてください。

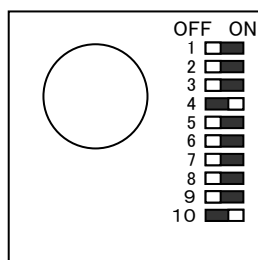


図 2 : VCC-G20U20 のディップスイッチ設定

注意 :

- メーカー出荷時にはすべてのディップスイッチは **OFF** に設定されています。
- このディップスイッチの設定に対応した VTV-8000 のソフトウェアリビジョンは 8.5.5.0以降です。オプションカメラポートにVCC-G20U20を接続する場合には8.5.5.0以前のバージョンでもサポートをしています。それ以前のリビジョンをお使いの場合、弊社までお問い合わせ下さい。

4. ケーブルとカメラの接続

4.1. ケーブル対応表

VTV-8000 本体とカメラ、ケーブルの対応表を以下の表 2に示します。

機種名	カメラポート	分岐ケーブル	対応カメラケーブル型番
VTV-8000	標準	300-0232-015	CBL-ST50-05
VTV-8000-6C	標準	300-0232-015	CBL-ST50-05
	オプション	CBL-GEIAJ2 (2 又ケーブル)	CBL-GHR50-05
VTV-8000-8C	標準	300-0232-015	CBL-ST50-05
	オプション	CBL-GEIAJ4 (4 又ケーブル)	CBL-GHR-50-05

表 2 : カメラケーブルの対応表

重要

- ・ 分岐ケーブルとカメラケーブルの接続に注意してください。
- ・ オプションカメラポート用の分岐ケーブルおよびカメラケーブルの先端部には赤色ラベルがつけられています。

4.2. カメラケーブルの接続

カメラとカメラケーブルの接続図を以下の図 3に示します。

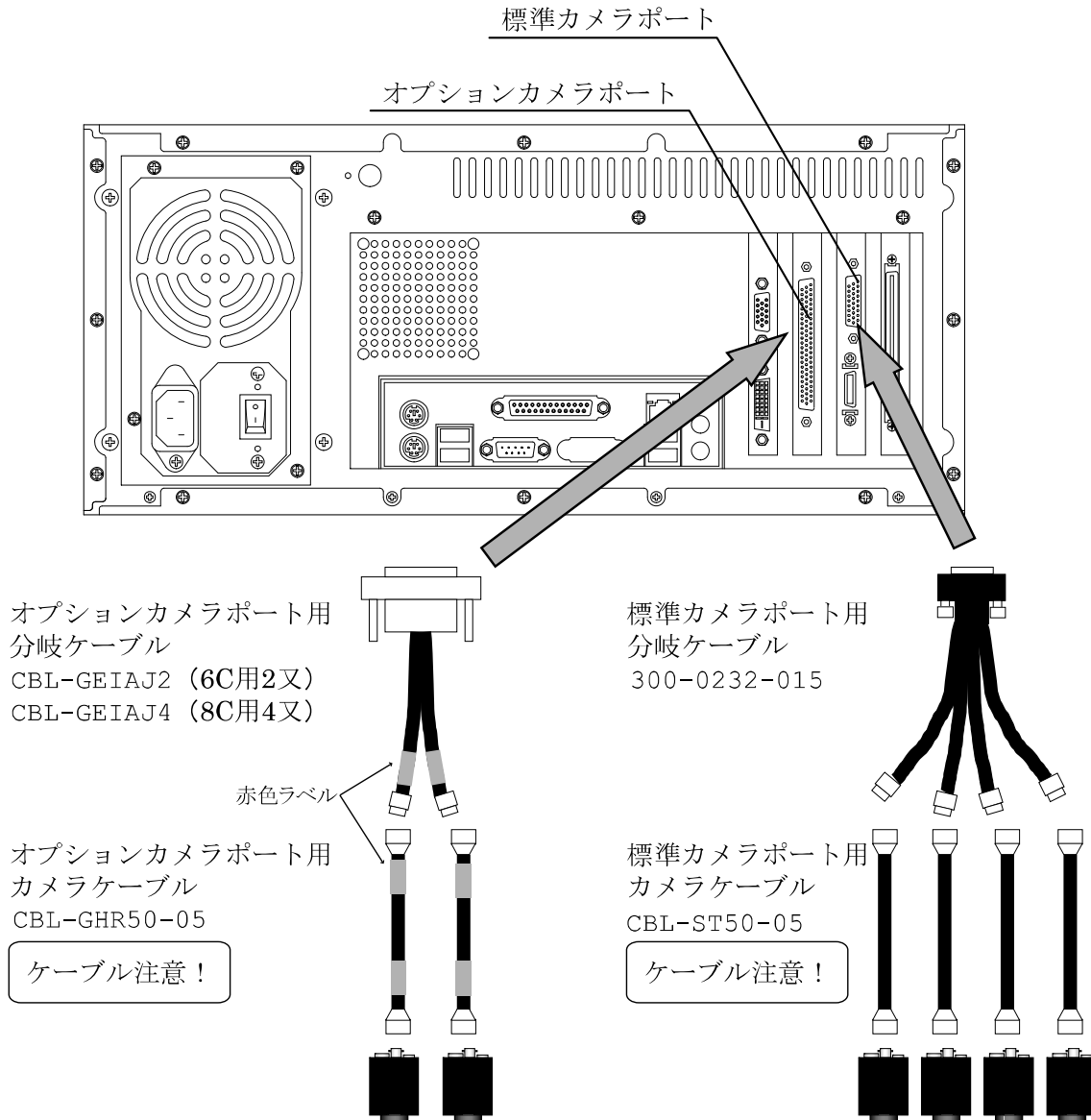


図 3 : カメラ接続図

重要

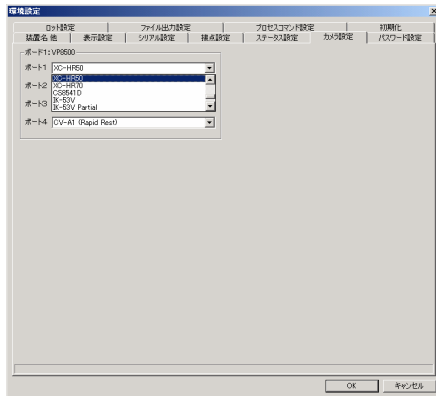
- ・ 分岐ケーブルとカメラケーブルの接続に注意してください。
- ・ オプションカメラポート用の分岐ケーブルおよびカメラケーブルの先端部には赤色ラベルがつけられています。

5. 画像の取り込み確認（標準カメラポート）

5.1. 標準カメラポートの設定と確認

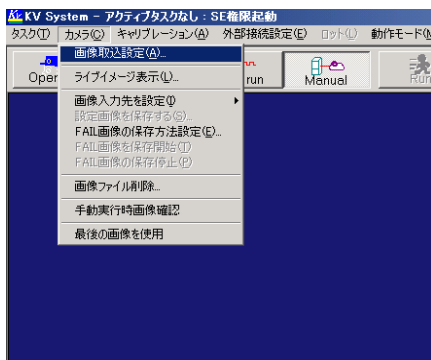
VTV-8000、VTV-8000-6C、VTV-8000-8C の標準カメラポートにカメラを接続した場合の画像確認方法について説明します。

5.1.1. KVシステムの終了と環境設定



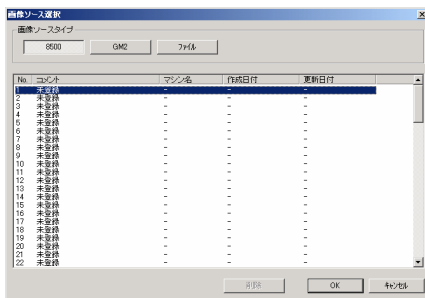
1. KVシステムが起動している場合にはKVシステムを終了します。
2. 「スタート」→「プログラム」→「KV System」→「環境設定」を起動して「カメラ設定」タブから使用するカメラを選択します。
3. 「環境設定」を閉じ、「スタート」→「プログラム」→「KV System」→「KV System」を起動します。

5.1.2. 手動運転モードへの切り換え



1. 「システム」ボタン→「エンジニアモードへ移行」ボタンをクリックし、エンジニアモードへ移行します。
2. 「Manual」ボタンで動作モードを「手動運転」に切り換えします。
3. 「カメラ」→「画像取り込み設定」を選択します。

5.1.3. 画像ソースの選択



1. 「8500」ボタンを選択後、未定義の画像ソースを選択します。ここでは例として「1. 未設定」の行をダブルクリックします。

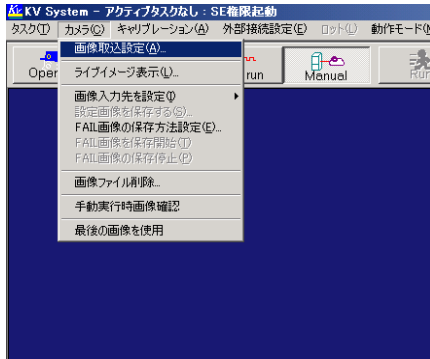
5.1.4. 画像取り込み



1. コメントに文字列を入力します。ここでは例として「CAM1」と入力します。
2. 取り込みを行うカメラポートを指定してください。
3. 「取り込み開始」ボタンで画像が取り込まれます。必要に応じシャッター速度等のパラメータを調整してください。

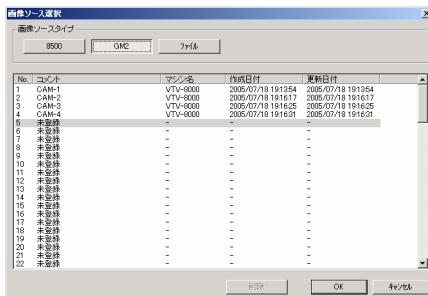
6. 画像の取り込み確認（オプションカメラポート）

6.1.1. 手動動作運転モードへの切り換え



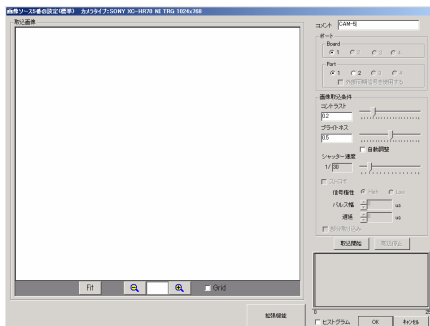
1. 「システム」ボタン→「エンジニアモードへ移行」ボタンを選びエンジニアモードへ移行します。
2. 「Manual」ボタンで動作モードを「手動運転」に切り換えます。
3. 「カメラ」→「画像取り込み設定」を選択します。

6.1.2. 画像ソースの選択



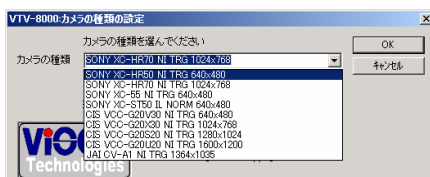
1. 「GM2」（VTV-8000-6C の場合）または「GM4」（VTV-8000-8C の場合）ボタンをクリックします。
2. 未設定の画像ソースの行をダブルクリックします。ここでは例として「5. 未設定」を選択します。

6.1.3. カメラの選択



1. コメントに文字列を入力します。ここでは例として「CAM5」と入力します。
2. 「拡張機能」ボタンをクリック

6.1.4. カメラの選択



1. 接続されているカメラを選択します。
- ※ オプションポート 1 と 2 および 3 と 4 はそれぞれ同じカメラである必要があります

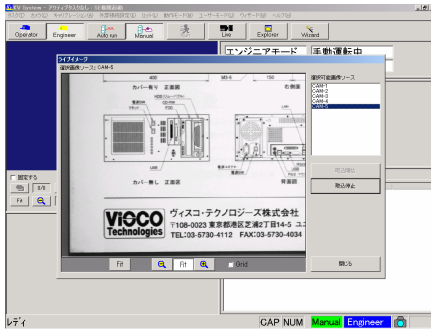
6.1.5. 画像の取り込み



1. 「取り込み開始」ボタンで画像が取り込まれます。必要に応じてシャッター速度等のパラメータを調整してください。

- ※ シャッター速度はリアルタイムにライブ画像に反映されません。シャッター速度を変更した場合、いったん「取り込み停止」にした後、再度「取り込み開始」ボタンで画像を取り込んでください。
- ※ シャッター速度を 1/15s 以上に設定できません。1/8s にしても実際は 1/15s として設定されます。

7. 画像の取り込み確認（画像取り込み設定済み）



1. エンジニアモードかつ手動運転モードの状態ですら「ライブ」ボタンを押します。
2. 設定されているカメラがリストアップされ、写したいカメラを選択するとライブ画像が得られます。

※ エンジニアモードかつ手動運転モードへの切り替えは「5.1.2 手動運転モードへの切り換え（p. 11）5.1.2」を参照してください。

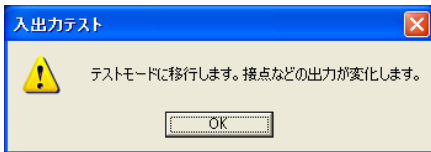
8. I/Oの確認

重要：

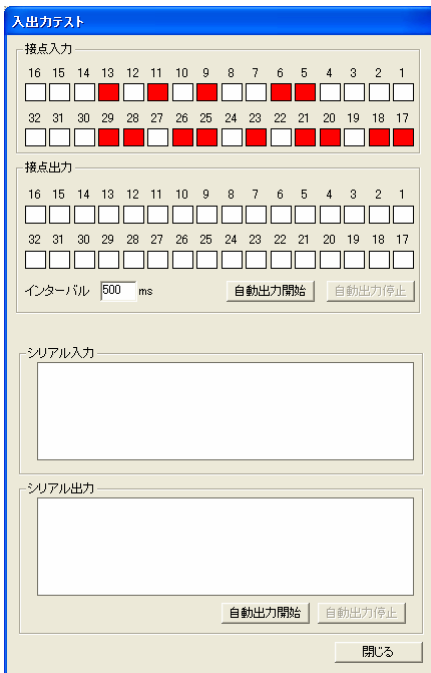
I/O ケーブルを接続する際には VTV-8000 の電源を OFF にしてから行ってください。
I/O ボードのコネクタ部がショートして破損する恐れがあります。



1. エンジニアモードかつ手動運転モードの状態
「外部接続設定」→「入出力テスト」を選択します。
※ エンジニアモードかつ手動運転モードへの切り替えは「5.1.2 手動運転モードへの切り換え (p. 11) 5.1.2」を参照してください。



1. I/O が変化した場合でも周辺接続機器に問題がないことを確認後「OK」ボタンを押します。



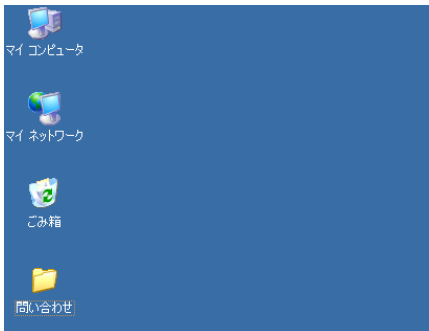
1. 画面上のボタンをクリックして I/O の確認をしてください。
 - ・接点入力(外部機器→VTV)
外部から信号が入ると赤で表示される
 - ・接点出力(VTV→外部機器)
ポート番号をクリックすると赤くなり、外部に信号が出力される
 - ・シリアル入力(外部機器→VTV)
外部から入力された文字列を表示
 - ・シリアル出力(VTV→外部機器)
「自動出力開始」ボタンを押すと、文字列が外部に出力される

9. 問い合わせデータの作成（タスクのエクスポート）

VTV の判定結果などに問題があり、弊社にデータを送る場合には以下の手順で問い合わせデータを作成してください。

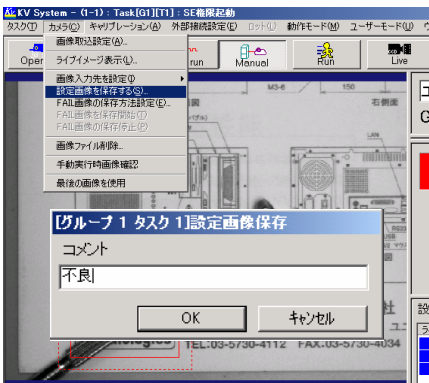
なお、データ送付時には良品画像（設定画像）と不良品画像の両方の画像をお送りください。

9.1. デスクトップにデータ保存用のフォルダを作成



1. デスクトップでマウスの右クリック→「新規作成」→「フォルダ」を選択し、新しいフォルダを作成して名前を付けます。ここでは例として「問い合わせ」というフォルダを作成します。

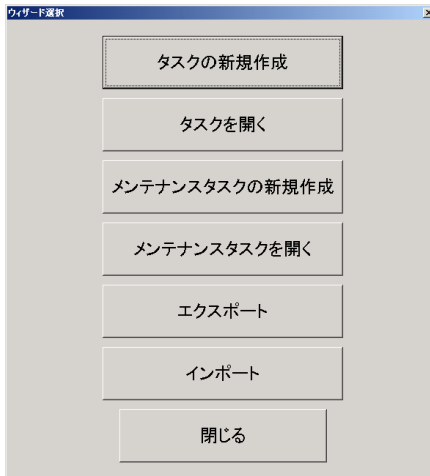
9.2. 問題のあるタスクを開き画像を保存する



1. エンジニアモードかつ手動運転モードの状態
で、「カメラ」→「設定画像を保存する」→「コメント」を選択して画像にコメントを付けて保存します。ここでは例として「不良」というコメントを付けます。
2. 良品画像も同様に保存します。ここでは例として「良品」というコメントを付けます。

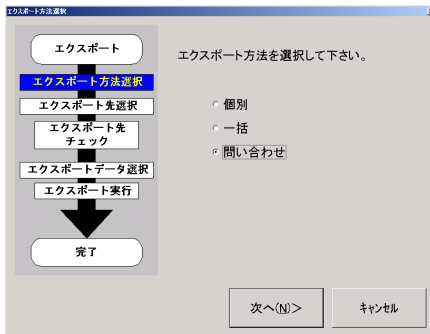
※ エンジニアモードかつ手動運転モードへの切り替えは「5.1.2 手動運転モードへの切り換え（p. 11）5.1.2」を参照してください。

9.3. タスクのエクスポートを行う

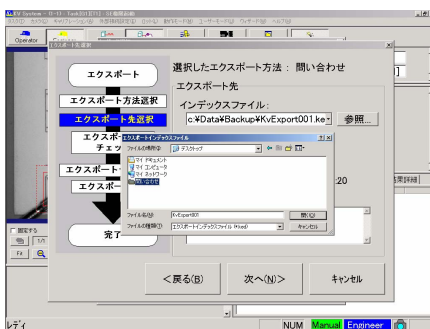


1. エンジニアモードかつ手動運転モードの状態
で、「ウィザード」→「エクスポート」を選択し
ます。
2. 「エクスポート」ボタンを選択する

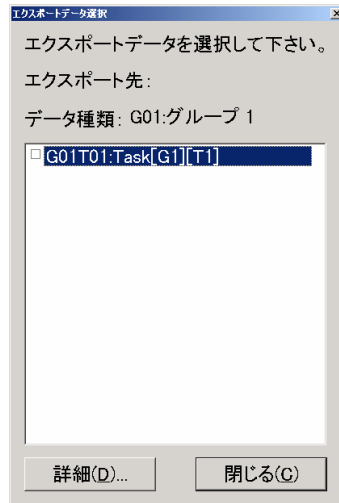
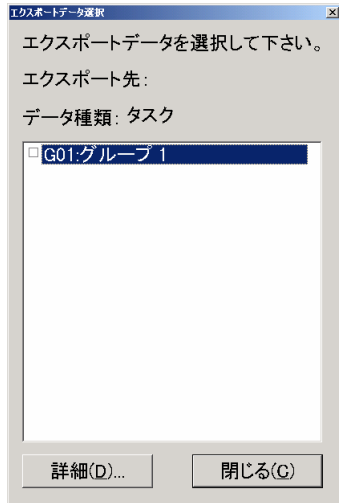
※ エンジニアモードかつ手動運転モードへの切り
替えは「5.1.2 手動運転モードへの切り換え (p.
11) 5.1.2」を参照してください。



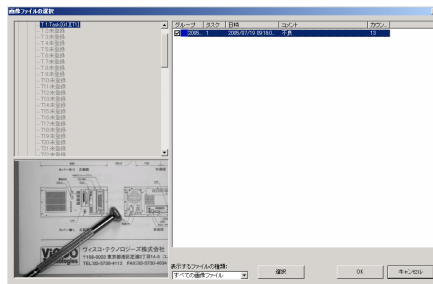
1. 「問い合わせ」をチェック後、「次へ」をクリッ
クします。



1. エクスポート先にデスクトップに作成したフォ
ルダを指定します。



1. エクスポートするデータのグループ番号、タスク番号をチェックします。



1. 画像をリスト形式で表示します。
2. 設定画像として保存済みの良品画像と不良画像の両方をチェックします。これにより良品と不良品 2 つの画像がエクスポートデータに含まれます。

9.4. 問い合わせデータの圧縮



1. エクスポートしたフォルダを右クリックし、「送る」→「圧縮 (zip 形式) フォルダ」を選択します。フォルダを圧縮し、圧縮されたファイルを作成します。

9.5. データの送付

USB メモリなどにデータを書き込み、圧縮ファイルをメール等でお送りください。

10. データの受け取り（タスクインポート）

弊社で対策を行ったタスクのデータを問い合わせデータの形でお送りすることがあります。そのデータをお手持ちの VTV-8000 シリーズにインポートする流れを以下に示します。基本的にはタスクエクスポートと逆の操作になるため操作説明は省略します。

10.1. データの受け取り

メール等で送付されるデータを受け取り、USB メモリ等を使って VTV-8000 シリーズにコピーしてください。

10.2. タスクインポート

KV システム を立ち上げ、データを問い合わせデータとしてインポートします。

10.3. 実行

実行してテストを行ってください。

11. OSのインストール

何らかの原因により OS の再インストールが必要になった場合、再インストールを行う手順について説明します。

注意：

Windows XP ライセンス認証のためにネットワークへの接続環境が必要です。

11.1. OSインストーラCDでの起動



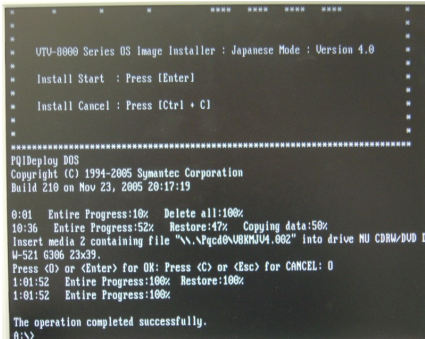
1. OS インストーラ CD をドライブに入れ、電源を入れます。
2. ドライブのインジケータの点滅が消えたら「Enter」キーを押してください。インストール用のソフトウェアが実行されます。

11.2. CDの入れ替え



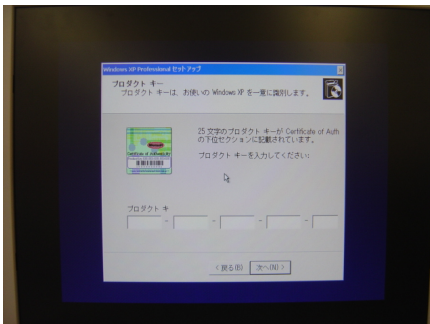
1. 画面に「Insert media 2 containing file ".¥¥.¥Pqcd0¥V8KMJV4.002" into drive MU CDRW/DVD DW-521 G306 23x39 Press <O> or <Enter> for OK: Press <C> or <Esc> for CANCEL:」というメッセージが表示されて処理が止まったら、2枚目のインストーラ CD に入れ替えて「Enter」キーを押してください。インストールが再開されます。

11.3. インストールの終了



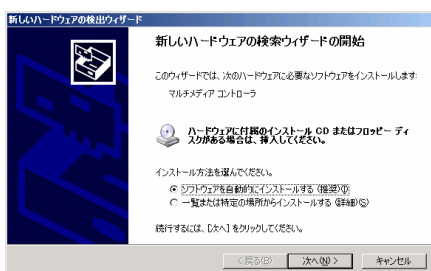
1. 画面に「The operation completed successfully A:\>」と表示されて処理が止まったら正常終了しています。
2. ドライブから CD を取り出した後、リセットボタンを押して再起動してください。

11.4. プロダクトキーの入力



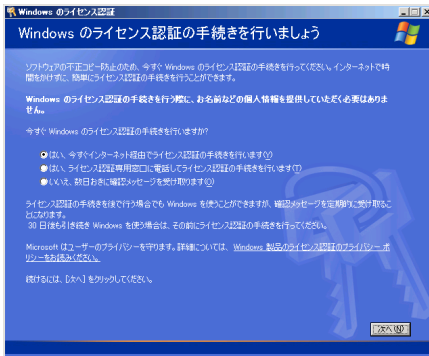
1. 再起動後、OS の最終設定を行う際にプロダクトキーの入力が必要です。VTV-8000 筐体側面部に貼られたプロダクトキー (Product Key) シールを見ながらキーを入力します。
- ※ 最終設定が終了すると自動的に再起動を行います。

11.5. 「新しいハードウェア検出ウィザード」のキャンセル

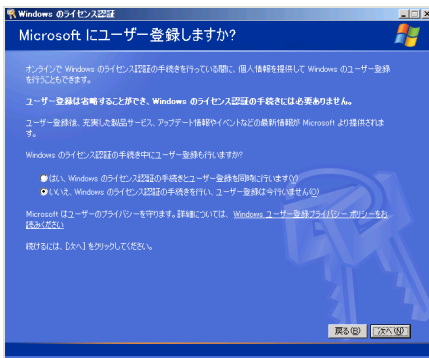


1. 「新しいハードウェア検出ウィザード」が表示された場合、すべてキャンセルしてください。ハードウェアのドライバは VTV-8000 のインストール時に自動的に行います。

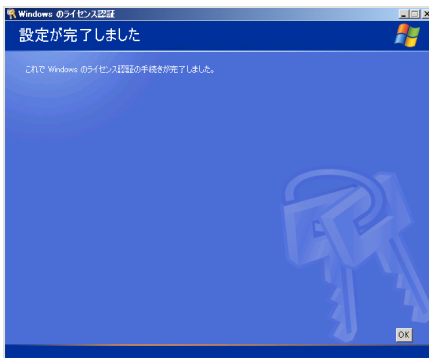
11.6. ライセンス認証



1. 「はい、今すぐインターネット経由でライセンス認証手続きを行います (Y)」を選択し、「次へ」ボタンをクリックします。



1. 「いいえ、Windows のライセンス認証の手続きを行い、ユーザー登録は今行いません (O)」を選択し「次へ」ボタンをクリックします。



1. 「これで Windows のライセンス認証の手続きが完了しました」と表示されたら設定の完了です。「OK」ボタンをクリックしてください。

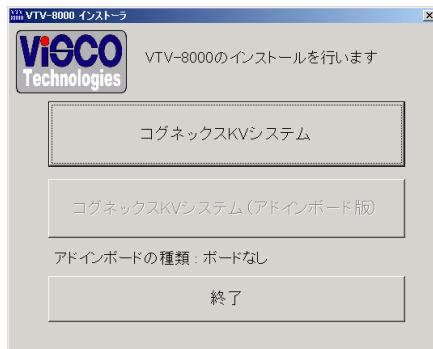
12. VTV-8000 アプリケーションのインストール

新しい VTV-8000 アプリケーションをインストールする手順について説明します。

注意：

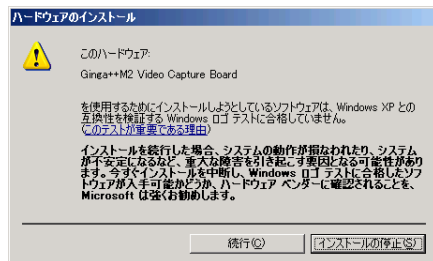
データの内容はすべて消去されます。必要なデータはエクスポートしてからインストールを行ってください。

12.1. VTV-8000 アプリケーションインストーラCDの起動

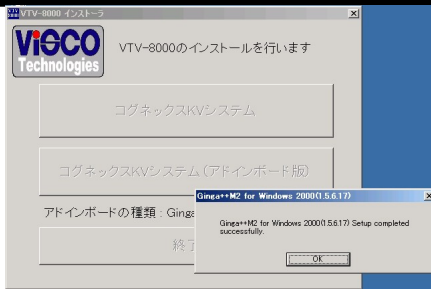


1. VTV-8000アプリケーションインストーラ CD をドライブに挿入すると自動的にインストーラが起動します。
 2. 「コグネックス KV システム」 ボタンをクリックしてください。
- ※ VTV-8000-6C、VTV-8000-8C の場合には「コグネックス KV システム (アドインボード版)」をクリックしてください。

12.2. オプションボード用ドライバのインストール

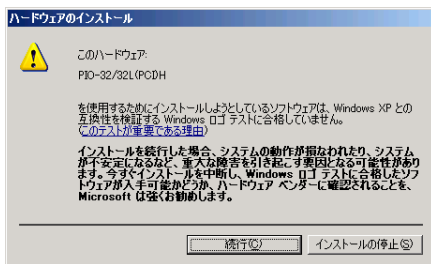


1. 「Ginga++M2 Video Capture Board」のインストールダイアログが表示されたら「続行」ボタンをクリックしてインストールを行います。
- ※ ボード構成によっては「Ginga++M4 Video Capture Board」と表示される場合がありますが、同様に処理してください。
- ※ このダイアログはオプションボードを使用する VTV-8000-6C、VTV-8000-8C で表示されます。



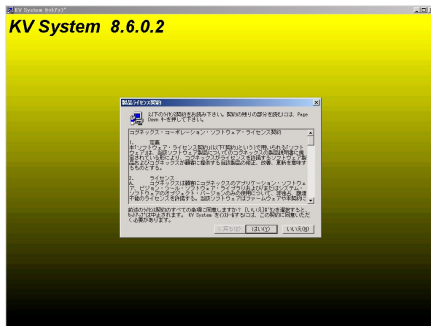
1. ドライバのインストールが終了するとダイアログが表示されるので「OK」ボタンをクリックします。

12.3. PIO ドライバのインストール



1. PIO-32/32L(PCDH) のインストールダイアログが表示されたら「続行」ボタンをクリックします。

12.4. KVシステムのインストール



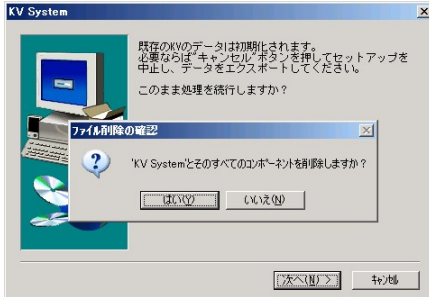
1. KVシステムのセットアップが起動します。ライセンス契約ダイアログの「はい」をクリックしてください。

12.5. 古いデータの削除を確認

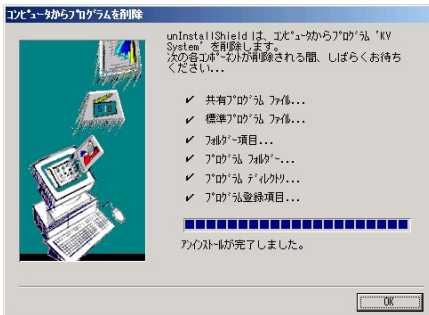


1. すでに KV システムがインストールされている場合には削除の確認ダイアログが表示されます。データが不要なら「はい」を選んでください。
※必要であればセットアップを中止し、ファイルをエクスポートしてください。

12.6. 古いKVシステムの削除

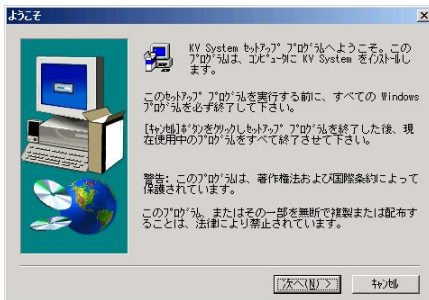


1. すでに KV システムがインストールされている場合にはシステムの削除を確認するダイアログが表示されます。「はい」を選択してください。



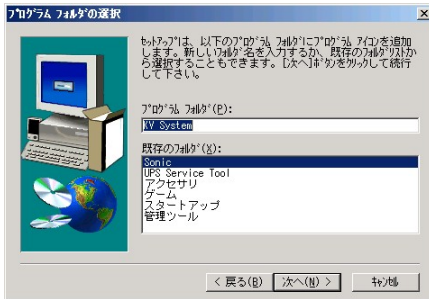
1. 「はい」をクリックした場合には古い KV システムが削除されます。削除が完了したら「OK」をクリックしてください。

12.7. KVシステムのインストール



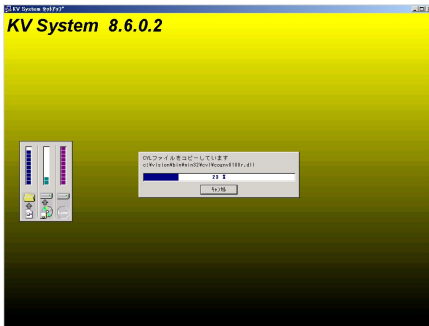
1. 「はい」をクリックしてください。

12.8. プログラムフォルダの選択

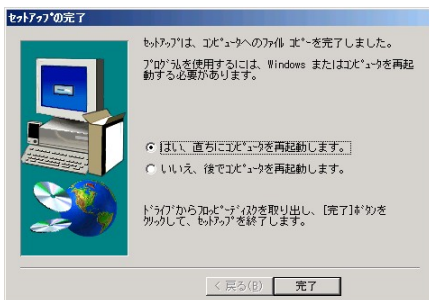


1. 「次へ」をクリックしてください。

12.9. KVシステムのインストール中画面

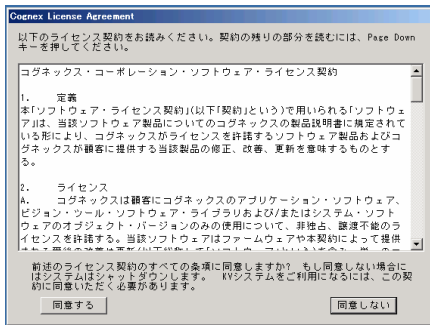


12.10. セットアップの終了

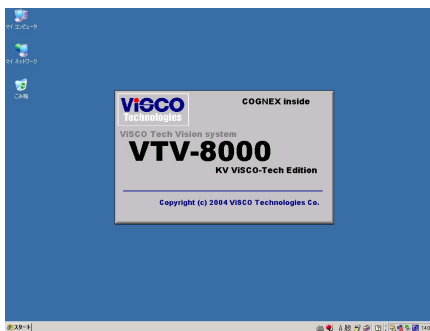


1. セットアップが終了すると再起動を促すダイアログが表示されます。「はい、直ちにコンピュータを再起動します」を選択して「完了」をクリックしてください。再起動が行われます。

12.11. ライセンスの同意とVTV-8000 起動



1. 一番初めの起動時にのみライセンス同意を促すダイアログが表示されます。「同意する」をクリックしてライセンスに同意してください。



VTV-8000 が自動的に起動します。

13. お問い合わせ先

ご不明な点は弊社までお問い合わせ下さい。

ヴィスコ・テクノロジーズ株式会社
技術部カスタマーサポート係

〒108-0023

東京都港区芝浦 2-14-5 ユニベル田町ビル 6F

電話：03-5730-4112

FAX：03-5730-4034

Email：support@visco-tech.com

VTV-8000 **セットアップガイド** MANS8K-J-30

2005 年 7 月 7 日 リリース 1.0

2005 年 8 月 7 日 リリース 2.0

2007 年 3 月 1 日 リリース 3.0

ヴィスコ・テクノロジーズ株式会社

〒108-0023

東京都港区芝浦 2 丁目 14-5 ユニベル田町ビル 6F

TEL: 03-5730-4112

FAX: 03-5730-4034

Email: support@visco-tech.com

Web: <http://www.visco-tech.com>

